

環境マネジメント

基本的な考え方

「より良い地球環境を次の世代に継承したい」——その想いをOKIグループは環境方針に込めています。この環境方針を環境経営の土台とし、脱炭素、資源循環、汚染の予防を中心とした活動を商品と拠点を中心にライフサイクル視点で推進しています。中でも、昨今の重要度を増す気候変動への対応や商品を通じた環境負荷の低減を抽出し、グループ全体の中長期の環境目標として「OKIグループ環境ビジョン2030/2050」を策定しています。

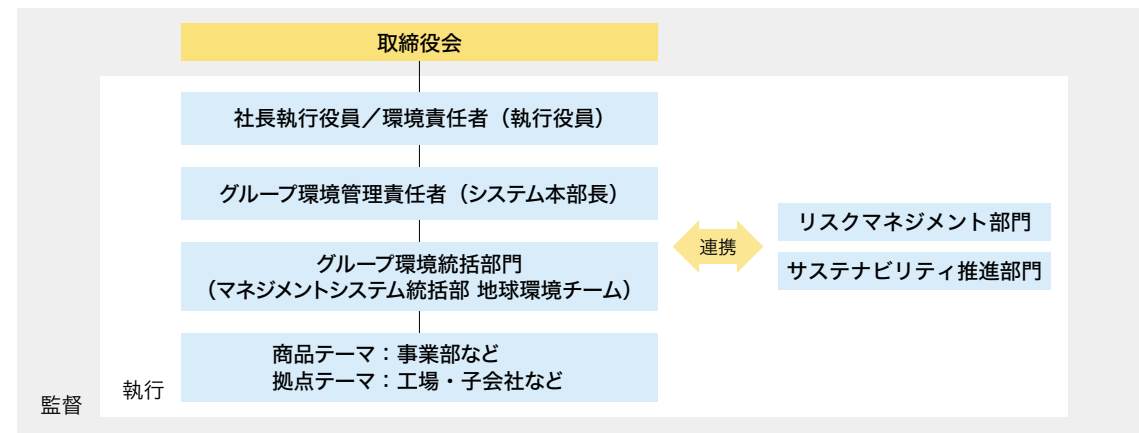
環境方針と環境ビジョン、および昨今のお客様などステークホルダーの要求を考慮し、3カ年計画を策定、毎年の活動計画に落とし込んでいます。計画や目標の達成に向けたツールとしてISO 14001を位置づけ、マネジメントシステムを構築し、OKIグループ全体で環境経営を実践しています。

体制

環境マネジメントシステムの国際認証ISO 14001を、OKIグループ全体で統合認証として取得しています。独自に認証取得している拠点も含め、国内外全19カ所の生産拠点におけるISO 14001の取得率は100%となっています。蕨・高崎・芝浦の大型事業所も認定を取得しています。

2023年度より執行役員の中から環境責任者を任命し、気候変動を含む環境ガバナンスを強化しています。環境責任者は、環境の領域において、グループ全体方針および中期計画の立案を行い、グループ全体計画の達成に対する責任を負っています。

環境マネジメント体制



OKIグループ環境ビジョン2030/2050（概要）

- (1) 温暖化防止 SDGs 7/13
- 2030年度 自社拠点のCO₂排出量の42%、調達先と製品使用時のCO₂排出量の25%削減（2020年度比）
- 2050年度 自社拠点を含むバリューチェーン全体のCO₂排出量 実質ゼロ
特に、自社拠点のCO₂排出量実質ゼロ、新製品の消費電力 実質ゼロ
- (2) SDGs達成への貢献 SDGs 3/6/7/9/11/12/13/14
- 2030年度 以下の活動を通じて2030年のSDGsが定める環境負荷の低減効果の目的の達成に貢献する。
- ① 幅広い環境課題の解決に資する製品やサービスのイノベーションの創出とソリューションの提供。環境貢献売上高比率 50%以上
- ② 事業場を含むバリューチェーンにおける、革新的なモノづくり・コトづくりの実現
- 2050年度 温暖化防止と気候変動への適応、その他、環境課題の解決に資する製品やサービスのイノベーションの推進を図り、開発・提供を推進することにより、社会インフラを支える。



2023年度から2025年度までの環境活動計画（概要）

2023年度から2025年度における主な活動項目は、下表に示すとおりです。拠点と商品を軸に環境経営を推進しています。

環境テーマ	取り組み内容	マテリアリティ	2025年度までの行動計画・目標	2024年度の目標	2024年度の実績
全体	環境貢献商品の拡大と創出	○	環境貢献売上高の対全体売上高比率の増加（35%）	33%	45%
気候変動の緩和*	自社拠点からのCO ₂ 排出量削減	○	21.0%削減（2020年度比）	16.8%削減（2020年度比）	30.7%削減
	調達先と製品使用時のCO ₂ 排出量		12.5%削減（2020年度比）	10%削減（2020年度比）	13.0%増加
汚染の予防	化学物質管理		法令違反ゼロ（拠点：事業運営に関わる環境法令）	同左	違反なし
			法令違反ゼロ（商品：製品含有化学物質に関わる法令）	同左	違反なし
資源循環	工場からの廃棄物の削減	○	再資源化率 84%以上	84%以上	86%
	使用済み製品の回収		回収した使用済み製品の再生率 90%以上	90%以上	98.6%
水リスク対応	水使用量の削減		水使用量 0.2%削減（前年度比）	0.2%削減（前年度比）	2.1%削減
生物多様性	上記の取り組み全体		気候変動の緩和／汚染予防／水リスクの取り組みを通じて生物多様性の保全に貢献	同左	問題なし

※CO₂排出量については、第三者検証などの影響で修正が入る可能性があります。2024年度データについては11月15日以降に下記Webサイトでご確認ください。
<https://www.oki.com/jp/sustainability/eco/data/index.html>

詳細は、以下Webサイトをご参照ください。
<https://www.oki.com/jp/sustainability/eco/mng/index.html>